

令和元年度 特別支援教育に関する講演会

## 「子どもに対する見方を変えて味方になろう」

～発達が気になる子の支援リフレーミング～

星槎大学大学院 教授 阿部 利彦氏



### ◆◆◆ 阿部 利彦氏のプロフィール ◆◆◆

特別支援教育士スーパーバイザー。日本授業UD学会湘南支部顧問。発達障がい  
が気になる子どもたちのサポート方法や、子どもたちの魅力について、全国各地で講  
演会・研修講師を務めるとともに、テレビ出演、執筆活動も行う。また、日本LD  
学会、日本授業UD学会等、数多くの学会に所属。

#### 【主な著書】

「これだけは知っておきたい 発達ที่気になる児童生徒の理解と指導・支援～多様性  
のある子どもたちのあしたのために～」 (金子書房：2019年 2月)

「クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイルV3対談編：達人と学ぶ！ライフ  
ステージを見据えたかかわり」 (金子書房：2017年 10月)

8月9日(金)、ライフパーク倉敷 大ホールで「特別支援教育に関する講演会」を開催しました。会場には教職員、  
福祉関係者、保護者等、およそ350人が集まりました。発達障がいのある子どもたちの理解と温かい関わり方を  
学ぶことができ、参加者の心が元気になる講演会でした。

#### ○ 特別支援教育とは

- ① すべての教育の原点である。
- ② 「専門性」が必要となる教育である。
- ③ すぐに成果が見えにくい。  
(児童・生徒にとっても、先生・支援員にとっても)
- ④ チームワークとネットワークが鍵である。  
(保護者・医療機関などとの連携が不可欠)

#### ○ 見方をカエル = リフレーミング

- |          |   |            |
|----------|---|------------|
| うるさい     | → | 元気、明るい     |
| おとなしい    | → | 人の話をよく聞く   |
| あきらめがはやい | → | きりかえがはやい   |
| 集中力が続かない | → | いろんな発想が浮かぶ |
| 心配性      | → | 確実         |
| しつこい     | → | 粘り強い       |



#### ○ 子どもを叱るときに

- ・ より適切な行動へ導くために叱る。
- ・ 懲らしめるために叱らない。
- ・ メリハリをつけ、ポイントを決めて叱る。
- ・ 一部の行動で全人格を決めつけない。
- ・ プライドを傷つけない。
- ・ 子どもにとって「大切な存在」でなければ叱る効果は期待できない。
- ・ ぶんだん達成感を多く与えていることが条件。

#### ○ 立ち直り力を支えるもの

- ・ 自分を大切に思ってくれる人がいる。
- ・ 自分に愛情を注いでくれる人がいる。
- ・ 必要なときに頼りにできる人がいる。
- ・ 自分の悩みを話せる人がいる。

#### ○ 子どもの気持ちを受け止めるコツ

- ・ すぐに口をはさまない。
- ・ 「でも」「しかし」「どうせ」といった言葉は極力避ける。
- ・ 別に注意したいことが浮かんでも次の機会にして、その場は気持ちよく終わらせる。

#### ○ 場の構造化

- ・ 作業や活動ごとに、場所を分ける。
- ・ 立ち位置や移動先の明確化。
- ・ 課題の明確化。
- ・ 強い刺激をコントロールする。
- ・ 気持ちの切り替えができる場をつくる。

#### ○ 時間の構造化

- ・ 全体への指示と個別の指示。
- ・ 予定、手順を視覚的に提示。
- ・ ゴールの明確化。  
(何分間、何時まで)
- ・ 予定変更の場合、気持ちの切り替えに十分な時間を確保。

#### ☆☆ 感想 ☆☆

- ・ 心が温かくなり、そして前向きになれるような講演で、本当によかったです。日頃の自分を振り返り、次はこうしてみよう、こんなやり方にチャレンジしようという気持ちになりました。今日参加していない仲間や家族にも伝えたいことが盛りだくさんです。ぜひ、また話を聞かせていただきたいです。
- ・ 具体的な支援方法について御指導をいただき、実践に生かすことができると思いました。「人間は不完全であるから助け合う。」という言葉は、自信がなくなりかねない自分を励まし、また頑張ろうという気持ちになりました。



# 令和元年度 夏の研修

みなさん、おつかれさまでした



## 2年目研修・3年目研修

### 学習指導と評価・社会科(2年目・小)

児童の興味・関心から学習課題を引き出し、意欲をもたせることの大切さを学ぶことができました。実際に児童を動かしたり、対話を大切に進めたりしていくことで、児童が学習を自分の事として捉えることができると思いました。

### 学習指導と評価・音楽科(3年目・小)

新しい学習指導要領に対応した指導法を学ぶことができました。どの児童もできたと思える声かけや仕掛けがたくさんありました。今回学んだことを、これからの授業づくりに取り入れていきたいと思えます。

### 教科指導(3年目・中)

つながりの中で深い学びを実現することが大切だと学びました。教科指導、特に教材研究のやり方については、改める必要があると感じました。学習指導要領で身に付けさせたい力を理解した上で、適切なめあて、まとめの提示ができていく見直ししていきたいです。

### 学習指導と評価・図画工作科(3年目・小)

どの教科でも、目的を意識して授業を組み立てることが大切だと改めて感じました。図工の時間は作品が残るものが多いので、結果にこだわっていましたが、その過程が大切で、子どもたちにとって意味や価値のある時間をつくり出すことができるようにしたいです。

### 生徒指導に関する事例検討(2年目・中)

実際に事例や経験を基にお話をしてくださったので、イメージしやすく、実際にそのような場面があったときの対応を整理することができました。自分の対応の良かったところ、悪かったところを改めて確認できるこのような機会はありがたかったです。

## 中堅教諭資質向上研修

## 教科指導の進め方

## 2年目研修とのコラボ研修



同じくらいの経験年数の先生と教材研究をじっくりとすることが今までほとんどなかったので、とても勉強になり、よい刺激にもなりました。同じ単元でも自分とはアプローチの仕方が違い、自分が今までに取り組んだことのない指導方法を教えてもらったので、今後に生かしていきたいです。教えてもらう機会が少なくなっているので、普段の授業で悩んでいたことなども講師の先生に質問ができ、たくさんの指導方法やアイデアを教えていただけてありがたかったです。

迷っている部分や自分一人では煮詰まってしまった部分について、同じグループの先生からアイデアをもらい、とても勉強になりました。それぞれの学校でやり方は様々でも、つけさせたい力が明確になっていけば、そのためにどんな工夫ができるか話し合うことができ、見えてくるものがあると感じました。同じ中堅研の先生と知恵を出し合っていく時間は、とても濃厚で充実した時間になりました。

特別支援学級の担任が初めての私にとって、新しい学びがとて多い研修になりました。グループの先生や講師の先生からは具体的なアドバイスや改善点を教えていただいたので、さっそく授業で取り入れていきたいです。2年目研修の先生の学習指導案は、私にはない視点から支援方法を考えていて感心すると同時に、私も頑張ろうという気持ちになりました。

今回の研修は、経験年数の近い先生と互いに同じ教科・単元を比べて意見を言い合ったり、2年目研修の先生の質問に対して自分の考えを伝えたりすることができて、自分自身の成長を感じ、中堅としての自覚と実感がもてました。10年間の中で、いつの間にか当たり前になっていた授業スタイルが一つの正解ではなく、いろいろなやり方があることにも改めて気が付きました。講師の先生からは、お話を伺うことで、自分の引き出しが増えました。講師の先生のようになれるようこれからも学び続けていきたいです。



## 初任者研修

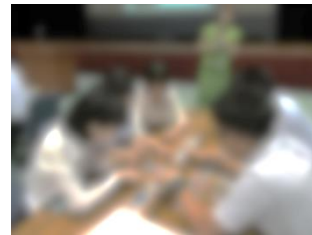
今年度は108人で研修を行っています。

### コミュニケーションマナー(小・中)



人と生きていくためには、お互いを尊重し合うことが必要だと思います。そのためにマナーはとても大切で、「心」だけ、「形」だけでなく、「心×形」でやっていこうと思いました。一つの言動で信頼を失うことも学びました。電話でのマナーも気を付けていきたいです。

### 国際教育(小・中)



固定概念にとらわれてしまっていることに、改めて気付かされました。子どもたちの人格形成を担う教員は、まず自らの既成の価値観を一度白紙の状態に戻し、しっかり吟味する必要があると感じました。多様性を柔軟に受け入れることのできる価値観を子どもたちに育てていきたいです。

### 不登校の理解と対応(小・中)



不登校の前兆の具体例や、参考となる欠席日数など、知らないと気付けないことがたくさんありました。依存的な要因が大きいと聞いて、未然予防が本当に大切だと感じました。小さな変化や違和感に対して、センサーを働かせるようにしていきたいです。

### 防災教育(小・中)



子どもたちがどんな災害にあう可能性があり、どんな備えをしてどのように避難すべきなのか、すぐに学び直したいです。また、教師としてだけでなく、一住民としての備えもしたいと思います。次の避難訓練では、子どもたちが「自分の事」として捉えることができるようにします。

### 学習指導と評価(小)(国語・算数)



#### <学びのキーワード>

学びのピラミッド  
アウトプットの方法  
発表の仕方は多様  
教師の立ち位置

### 道徳教育の進め方(小)



#### <学びのキーワード>

主体的・対話的で深い学び  
「心」を考える  
「道徳は一日にしてならず」  
多面的・多角的

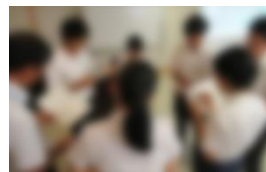
### アンガーマネジメントの理論と実践(中)



#### <学びのキーワード>

怒りの温度  
怒りの上手な伝え方  
「べき」の境界線  
怒りを後悔しない

### 学習指導と評価(中)(指導技術)



#### <学びのキーワード>

各教科の見方・考え方  
「できた」で終わる授業  
発問の組み立て  
学力調査の見方

## 倉敷ふれあい教室めぐり

☆友だちづくり☆体力づくり☆野菜づくり☆  
☆ 楽しく元気に活動 ☆

### ☆☆ 児島教室 ☆☆



倉敷ふれあい教室児島教室は児島味野にあり、元幼稚園の広い敷地、大きな建物を最大限利用して活動しています。学習などの活動は教室でしますが、バドミントン、ソフトバレーボール、卓球などの室内スポーツのできる場所もあります。また屋外では、広い運動場ででのびのびとスポーツをしたり、いろいろな野菜や果物などの栽培活動を楽しんだりすることができます。

通室日は月曜日から金曜日までで、午前9時30分から午後3時までです（水・木曜日は午後1時まで）。

午前中は、なかよし活動があり、スポーツ・調理実習・理科実験・創作活動・工作・栽培活動などに取り組んでいます。ときには図書館の利用や幼稚園訪問、遠足

などで地域に出る活動もあります。秋の幼稚園交流では、幼児が児島教室に来て一緒に虫取りを行います。広い運動場には、バッタ、コオロギ、カマキリ、トンボなどのたくさんの虫がいて、幼児とふれあう楽しい活動になっています。

そして、スタディの時間と呼んでいる学習時間には、数学・英語・国語・社会・理科などの学習に各自が自分のペースで取り組んでいます。

自然豊かな環境の中で緑や鳥の声に癒されて、じゃがいもやさつまいも、びわやぶどうなどの栽培、木々の剪定、落ち葉掃き、草取りなど自然に親しみ四季を感じながら、みんなで楽しくのびのびと過ごしています。



## 倉敷ふれあい教室めぐり

☆ 豊かな自然と歴史、  
文化に囲まれて・・・

### ☆☆ 真備教室 ☆☆

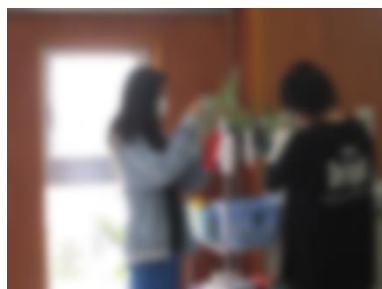


倉敷ふれあい教室真備教室は、倉敷市真備保健福祉会館3階にあります。昨年7月の西日本豪雨以降、真備保健福祉会館の中には、児童館などの諸施設が入り、毎日たくさんの人達が行き交うところとなりました。教室の窓から見える景色も少しずつ以前の姿を取り戻してきました。そんな環境の中で、地域の人とのつながりを感じながら日々、活動をしています。

午前中は自分で決めたスタディに取り組んだ後、みんなでスポーツや創作などに取り組むなかよし活動を行っています。

「なかよし活動」では、「栽培活動」として、春にプランターに野菜の苗を植えました。初夏の日差しを浴びながらすくすく育ち、たくさん収穫することができました。秋にはさつまいもの収穫を楽しみにしています。

また「調理実習」では、月末の「なかよし会議」で作ってみたいものや、季節に合わせた献立を話し合っています。毎回みんなで協力して楽しく作っています。



そして、月に一度は「奉仕活動」として、保健福祉会館の階段や、ベランダを清掃しています。気持ちの良い汗をかきながら、時間のある時は教室の窓ふきもします。

そのほかにも、春の遠足で倉敷美観地区へ行ったり、散策でまきび公園へ出かけたりしています。教室から一步出て、普段見ることができないものを見たり触れたりすることで、有意義な時間も過ごしています。

真備教室では、毎月の目標を「なかよし会議」で決めて、日々の活動を通して仲間と協力しながら、元気よく楽しんだり、挑戦したりして、「感動」と「希望」がもてるように過ごしています。

みんな、がんばっています。

